

T20×D40 イナズマアンカー施工方法

(鉄筋に干渉されない接着系偏心あと施工アンカー工法)

スエヒロシステム株式会社



〒541-0046
大阪市中央区平野町 1-6-8-201
TEL : 06-6203-2284
FAX : 06-6203-1136
info@suehiro-sys.co.jp
https://suehiro-sys.co.jp/
アンカー事業部：末廣

- ① イナズマアンカーボルトと接着剤を用意する。
(接着剤はイナズマアンカーボルトに付属しております)



T 型

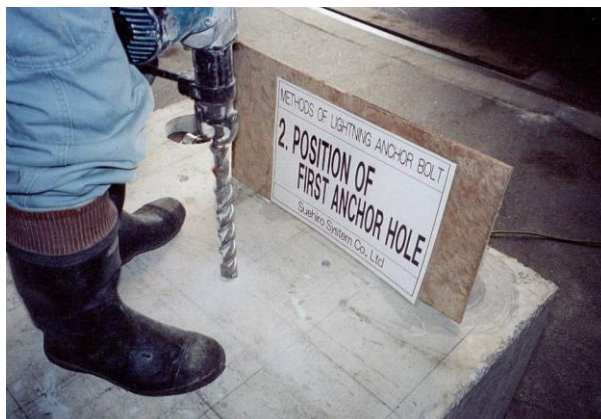
<必要特殊工具>

- ① $\phi 37$ ($\phi 38$) × 250mm以上の穿孔キリ
- ② $\phi 100$ ハンドグラインダー
- ③ $\phi 100$ ダイヤモンドカッター刃
- ④ 接着剤 (付属品)
- ⑤ 接着剤注入ガン
(注入ガンは必要により御注文ください)



T 型

- ② 墨出し位置に穿孔し、鉄筋と遭遇。(第 1 アンカーボルト孔が鉄筋と遭遇)



<マーキング及びアンカーボルト孔穿孔>

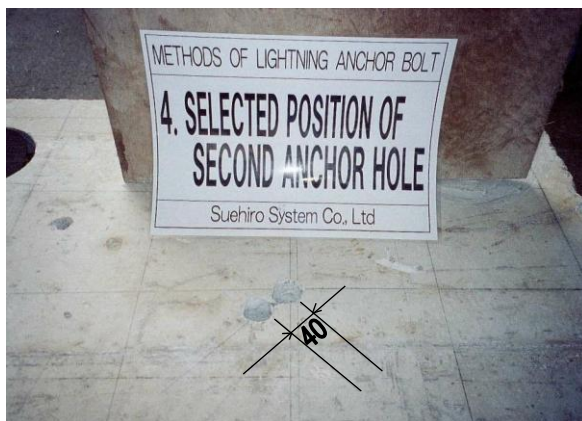
M20 のケミカルアンカーボルト用に、 $\phi 24$ のドリルで穿孔します。



＜穿孔位置に鉄筋干渉＞

鉄筋と遭遇したら穿孔を中断し、清掃を行い、鉄筋の配置方向を確認してください。

- ③ 第 1 アンカーボルト孔より、偏心距離※（40mm）斜め方向に、第 2 アンカーボルト孔位置をマーキングし、穿孔する。 → 正規寸法長さの穿孔ができる。



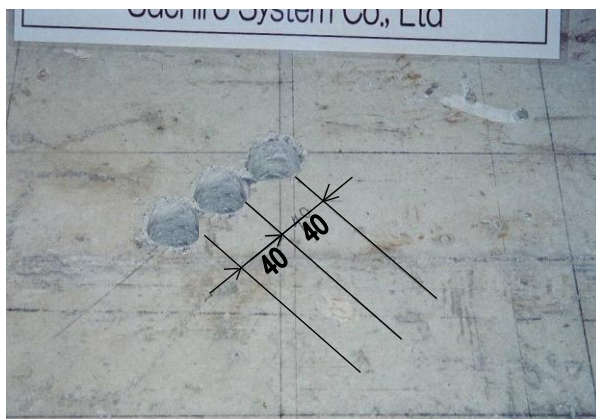
＜第 2 アンカーボルト孔の穿孔＞

第 1 アンカーボルト孔芯より、鉄筋が存在しない方向に 40mm 偏心させた位置に $\phi 37$ （ $\phi 38$ ）キリの孔を深さ 208mm まで穿孔してください。

（斜め方向が鉄筋の存在する確率が低い）

さらに、第 1 アンカーボルト孔も $\phi 37$ キリで、大きくしてください。

- ④ さらに 40mm 斜め方向に深さ 42mm の穿孔を行う。



＜さらに 40mm 偏心して第 3 の穿孔を行う＞

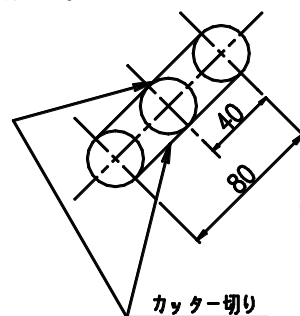
⑤ 3つのアンカーボルト孔を連結する。

ダイヤモンドカッターでコンクリート表面を切り込み、ドリル刃を左右に回転しながら動かして研る。



＜コンクリート表面をカッター切り＞

3つの孔の外側を結ぶように、カッター切り込み線を入れる。



cf.
添付穿孔要領をご
参照ください。



＜アンカーボルト孔連結＞

イナズマアンカーボルト連結部がすっぽり入り、連結部がコンクリート表面より5～7mmほど窪ませる連結孔をあける。

（接着剤を注入する前に、イナズマアンカーボルトをセットして、すっぽり収まることを確認してください。）

⑥ 穿孔部をブラッシングする。

⑦ ブロワーにより清掃する。

⑧ 穿孔部を再度ブラッシングする。

⑨ ブロワーにより再度清掃する。

穿孔部の清掃がアンカーボルト付着力の決め手です。
ブラッシング・清掃を2回ずつ繰り返してください。
水分は乾燥させてください。

⑩ 接着剤を注入する。

（当社指定品を必ず使用してください）



＜接着剤注入＞

- ⑪ イナズマアンカーボルトをクッションハンマー等で打込む。(あるいはボルト頭を養生して手で押し込む。)



<イナズマアンカーボルト取付>

イナズマアンカーボルトの連結部表面が、コンクリート表面から 5～7mm 窪むように設置してください。

- ⑫ イナズマアンカーボルトセット完了



<イナズマアンカーボルト取付完了>

接着剤はコンクリート表面（壁面）と平滑に仕上げ、余った分はヘラ等で取り除いてください。また、仕上げ時にコンクリート粉を表面に撒くと美しく仕上がります。その後、24 時間養生して完成です。

- ⑬ 引張試験



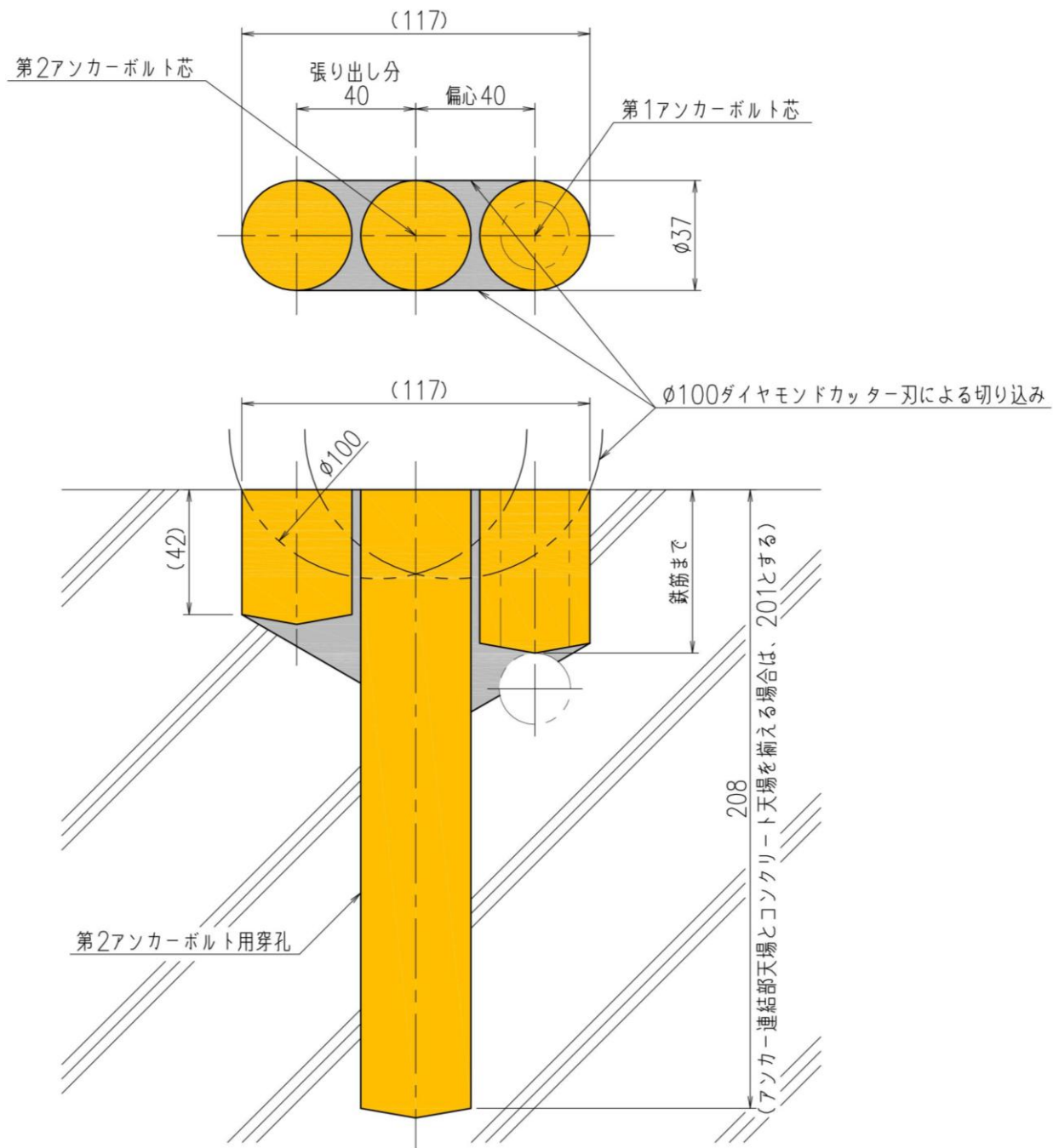
<引張試験>

24 時間養生後、アンカーボルトの引張試験を実施してください。

この時、連結部の上面に空間を設けて、試験を行ってください。

引張力は、日本デコラックス(株)標準タイプケミカルアンカーR-19 の長期許容引張強度を参考とし、38.3KN としてください。

T20×D40の穿孔要領



穿孔部分

連結部分（ドリルを回転しながら横移動させ削る）

cf. 穿孔はφ38径でも可

但し、接着剤量が多少増加します。

() 寸法は状況判断必要。